

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 131-02-01

事務事業名		明示・占有・証明等に関する事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線2230	
担当部署名		道路公園課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	8	土木費
	施策	3	道路・交通		項	2	道路橋梁費
	施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の推進		目	1	道路橋梁総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市道					
	目的 (どうしたいか)	明示:市道と民有地との境界確定を図る。 占有:市道の占有申請及び施工許可を行う。 証明:市道の幅員を証明する。					
	手段 (事業内容)	明示:市道の境界確定申請のあった土地について、既明示や寄付・帰属・引継ぎ等の書類を調査し、現地立会の上、土地所有者及び利害関係者と協議の上、官民境界確定をし、その境界確定書を交付する。占有:道路占用許可申請・施工承認申請事務 証明:道路台帳に基づき市道の幅員を証明する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 【特定財源】 道路占用料 108,333千円 市道境界明示手数料 72千円 境界確定図等交付手数料 48千円	
当初予算額	事業費	0	0	108,283		
決算額	事業費	0	0	-		
	特定財源等	107,934	108,453	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	道路占用申請受付事務	単位	件	
指標の説明	道路占用許可申請書の受付件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		900	800	800
実績		800	795	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	許可件数	単位	件	
指標の説明	道路占用許可件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		900	1,000	800
実績		1,063	795	-

≪事業の参考数値等≫
道路占用許可申請
施工承認申請件数:795件
明示申請件数:91件
境界確定図交付等手数料 119件

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
明示:市道の境界確定申請に伴う境界確定業務は、所有する土地を適正に管理するために、市及び市民にとり重要な事業であり、目標については、達成している。占有:許可・承認事務については、法に基づき適正に行っている。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 131-02-02

事務事業名		道路管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2230	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の推進		項	2	道路橋梁費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	対策に必要な道路とその利用者					
	目的 (どうしたいか)	生活基盤である道路の安全性の確保を図る。					
	手段 (事業内容)	道路舗装:道路構造物の老朽化や破損に対し、修繕・応急工事を実施する。 道路修繕工事:道路舗装・安全柵・側溝・集水枡等の小規模な破損の修繕。 応急工事 :道路舗装・道路構造物の老朽化や破損に伴う危険箇所の早急な補修。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
当初予算額	事業費	142,802	124,796	110,674
決算額	事業費	94,243	102,087	-
	特定財源等	4,594	28,505	-

<<主な内訳(令和2年度決算)>>

<p>【事業費】</p> <p>植栽管理工事費:5,775千円 道路清掃委託料:6,196千円 道路管理委託料:1,069千円 修繕費:31,984千円 道路舗装工事費:43,002千円 道路改良工事費:12,931千円 他</p> <p>【特定財源】</p> <p>社会資本整備総合交付金 菅田碓井線 5,280千円 河原城13号線 2,997千円 ほか 計 28,505千円</p>

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	修繕件数	単位	件	
指標の説明	通報又は、発見による緊急に修繕が必要な箇所			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	130	140	140	
実績	140	138	-	

<<事業の参考数値等>>

<p>道路舗装工事:5件 道路改良工事:4件 修繕:138件</p>
--

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	修繕箇所	単位	箇所	
指標の説明	修繕を施工した箇所数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	130	140	140	
実績	140	138	-	

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的事業である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>市民が道路を安心・安全・快適にできるように、より充実して継続していく。また、予算及び職員数減少により、きめ細やかな市民サービスが低下していく恐れがあるため、道路施設の点検及び管理委託、道路工事予算について重大事故防止に向け拡充する必要がある。</p>	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 131-02-03

事務事業名		橋梁維持補修事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2213	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の推進		項	2	道路橋梁費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	当課が認定・管理する道路に架かる全ての橋梁					
	目的 (どうしたいか)	施設の老朽化や損傷が進んでいるため、長寿命化対策を実施するとともに、適切な維持管理を継続的に行い、地域の安全・安心を確保する。					
	手段 (事業内容)	対処型の維持管理から、「傷みが小さい時から計画的に補修する」予防保全型の維持管理に移行する ・平成26年に道路法施行規則が改正され、5年毎の定期点検が義務化される。 ・平成29年度に定期点検を実施し、平成30年度はこの結果に基づき、全98橋の橋梁長寿命化修繕計画の更新を行うとともに、計画的に修繕設計や修繕工事等を実施した。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度		
当初予算額	事業費	40,621	73,840	30,500	【事業費】 修繕設計委託料 13,558千円 長寿命化計画策定(点検)委託料 11,445千円 修繕工事請負費 48,308千円	
決算額	事業費	38,136	73,311	-	【特定財源】 道路局所管補助金 21,725千円	
	特定財源等	20,199	21,725	-		

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	橋梁長寿命化事業の実施	単位	式
指標の説明	橋梁に係る修繕設計、補修工事の施工等維持管理事業		
		令和元年度	令和2年度
目標(見込)	1	1	1
実績	1	1	-

【事業費】	修繕設計委託料 13,558千円
	長寿命化計画策定(点検)委託料 11,445千円
	修繕工事請負費 48,308千円
【特定財源】	道路局所管補助金 21,725千円

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	補修工事が完了した橋梁数	単位	件
指標の説明	補修工事が完了した橋梁数(累計) ※全98橋		
		令和元年度	令和2年度
目標(見込)	0	19	21
実績	13	18	-

≪事業の参考数値等≫		
	修繕設計	修繕工事
H25年度(完了)	0橋	2橋
H26年度(完了)	2橋	2橋
H27年度(完了)	6橋	4橋
H28年度(完了)	6橋	7橋
H29年度(完了)	9橋	7橋
H30年度(完了)	15橋	9橋
R1年度(完了)	19橋	13橋
R2年度(完了)	23橋	18橋
R3年度(完了予定)	29橋	21橋

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
道路は市民生活を支える最も基本的な社会基盤であり、経済の発展や産業の育成に深く関わり、膨大な交通需要に対応するとともに、災害時におけるライフラインとして重要な役割を担っています。 その中でも橋梁は、道路法の改正により定期的な点検が義務化され、維持管理の強化が図られているところであり、当市の橋梁は、高度経済成長期時に架設されたもの多数を占めることから、老朽化対策が求められています。 課題:維持管理費の増大が懸念され、予算の確保が厳しい状況にあります。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
今後:安全で安心な道路インフラを実現するため、計画的かつ継続的に維持管理を行う必要があります。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 131-02-04

事務事業名		道路台帳管理事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2230	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	1	計画的な道路整備と維持管理の推進		項	2	道路橋梁費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	道路を使用する市民					
	目的 (どうしたいか)	市道の区域・兼用工作物・占用物件等道路管理上の基礎的な事項を把握し、道路管理事務を円滑に遂行するため、市道の認定、廃止や区域変更に伴う道路台帳の時点修正を行う。					
	手段 (事業内容)	道路台帳の整備を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 道路台帳補正業務委託料 12,797千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	14,577	15,000	15,240		
決算額	事業費	11,880	12,797	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	市道延長	単位	Km	
指標の説明	市道の実延長			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		300	300	300
実績		301	311	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	台帳整備率	単位	%	
指標の説明	道路台帳整備延長÷市道認定延長×100			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		100	100	100
実績		100	100	-

≪事業の参考数値等≫
市道延長:311km
路線数:2,092路線
橋梁数:98箇所

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
毎年度図化と数量を更新し、台帳整備率100%を維持する。また、道路台帳図の端末による閲覧やプリントアウト、オンラインによる閲覧などの要望に応えるべくシステムの拡充に取り組む。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 132-01-02

事務事業名		恵我之荘市営駐輪場管理運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2211	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	2	総務費
	施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化		項	1	総務管理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	通勤・通学など日常的な自転車等の利用者					
	目的 (どうしたいか)	街の美観と良好な生活環境を維持するため、自転車等の利用者が安全かつ快適に駐輪できるスペースを確保し、放置自転車等の発生を防ぐことを目的とする。					
	手段 (事業内容)	シルバー人材センターに自転車置場の管理運営を委託している。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 シルバー人材センター委託料 6,462千円 土地借上料 689千円 【特定財源】 恵我之荘自転車置場使用料 1,815千円	
当初予算額	事業費	7,455	7,187	7,162		
決算額	事業費	7,061	7,151	-		
	特定財源等	2,433	1,815	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	営業日数	単位	日	
指標の説明	1年間で駐輪場を営業した日数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		269	269	269
実績		266	269	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	自転車等の利用件数	単位	台	
指標の説明	自転車置場定期申込み及び一時預かり(日数換算)台数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		2,500	2,500	2,500
実績		2,672	1,322	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。		B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	改善して継続
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
事業を開始して以降、周辺での民間駐輪場の新設等により、利用者数は減少傾向にありますが、放置自転車の防止効果などにより、駅周辺での道路交通環境、生活環境の悪化の抑制を図るため、継続して事業を行うとともに、駐輪場利用者の増加を図るため、宣伝活動を展開する必要があります。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
事業費の内、土地借上料について地元水利組合と協議中

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 132-01-03

事務事業名		市道恵我之荘69号線整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2213	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	2	公共交通網と交通ターミナル機能の強化		項	2	道路橋梁費
					目	2	道路舗装改良事業費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	周辺住民					
	目的 (どうしたいか)	通勤・通学者の安全性の向上					
	手段 (事業内容)	住宅密集地区内の狭い生活道路を迂回するバイパス路を新しく整備し、通過車両を誘導することにより、駅へのアクセスや、通学児童等の安全性の向上を図る。					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
当初予算額	事業費	88,858	25,019	3,073
決算額	事業費	6,907	1,193	-
	特定財源等	0	100	-

≪主な内訳(令和2年度決算)≫

【事業費】	
測量登記委託料	613千円
不動産鑑定手数料	204千円
先行取得用地費買戻し	376千円
【先行取得費用(特別会計)】	
用地買収費	1,073千円

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	境界確定業務の実施(委託)	単位	件	
指標の説明	境界確定業務の委託発注件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		0	-	1
実績		-	1	-

≪事業の参考数値等≫

令和元年度については実施設計及び用地買収のための不動産鑑定等を実施し、用地買収を開始した。地権者の大半との交渉中であり、指標には表せない。

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	境界確定進捗率	単位	%	
指標の説明	予定していた筆数に対して、境界確定が終了した割合			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		0	-	-
実績		-	-	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待通りの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市道恵我之荘69号線は高鷲小学校区の通学路に対する安全対策として「羽曳野市通学路交通安全プログラム」に位置付けられています。また事業を実施する地区は、住宅が密集し道路が狭小なため、災害時の緊急車両の進入や活動場所、一次避難所への誘導など、市道恵我之荘69号線の整備が急がれる状況があり、引き続き事業の推進を行います。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
付近の道路は住宅密集地区内の狭い生活道路であり、バイパス路を新しく整備するため、警察との設計協議やその他ライフラインの管理者との埋設協議が必要である。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 133-01-01

事務事業名		臨時運行許可等に関する事務事業		事務の種類		法定受託事務	
				連絡先		内線2213	
担当部署名		道路公園課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち		款	2	総務費
	施策	3	道路・交通		項	1	総務管理費
	施策の方向	3	交通安全対策の推進		目	13	交通安全対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	車両の臨時運行を必要とする者					
	目的 (どうしたいか)	道路運送車両法及び同法施行規則に基づき、未登録や検査証の有効期限が過ぎた自動車に対し、一時的に運行許可を与える。 ※自動車:道路運送車両法第2条第2項に定めるものをいう。					
	手段 (事業内容)	未登録自動車の新規検査・登録や車検切れ自動車の継続検査を受けるために運輸支局等まで運行する場合など、運行の目的・期間・経路を特定したうえで有効期間(5日を超えない範囲)を付して特例的に臨時運行の許可を行う。また、有効期間満了後5日以内に臨時運行許可証及び臨時運行許可番号標の返納を求めている。 ※臨時運行許可申請手数料:1件750円					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 【特定財源】 臨時運行許可手数料 294千円(391件)	
当初予算額	事業費	19	0	19		
決算額	事業費	0	0	-		
	特定財源等	302	294	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	臨時運行許可申請件数	単位	件	
指標の説明	1年間に臨時運行の許可申請のあった件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		450	400	400
実績		403	391	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	臨時運行許可件数	単位	件	
指標の説明	1年間に臨時運行の許可を行った件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		450	400	300
実績		403	294	-

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
自動車の臨時運行許可は、法令により地方運輸局長、運輸監理部長、運輸支局長、市及び特別区の長並びに政令で定める町村の長(「行政庁」)が行うこととされており、市として今後も行っていく必要があります。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 133-01-02

事務事業名		交通安全対策施設等整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2230	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	8	土木費
	施策の方向	3	交通安全対策の推進		項	2	道路橋梁費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	対策に必要な道路とその利用者					
	目的 (どうしたいか)	交通の円滑化を図り、併せて交通安全と事故防止のため、区画線、防護柵及び道路照明を整備する。					
	手段 (事業内容)	道路パトロール等で発見した危険箇所と利用者からの苦情ならびに設置要望を受けた危険箇所等の整備区画線、防護柵、道路照明の設置					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 修繕費:970千円 原材料費:4,273千円 交通安全施設整備費:7,969千円 (道路照明・区画線・防護柵)	
当初予算額	事業費	13,300	13,300	13,300		
決算額	事業費	14,269	13,212	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	区画線の整備延長	単位	m	
指標の説明	区画線の整備延長新設及び補修した延長			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		7,000	8,000	8,000
実績		7,336	7,799	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	市内での交通事故発生件数	単位	件	
指標の説明	交通事故の発生件数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		0	0	0
実績		312	285	-

≪事業の参考数値等≫	
修繕	13件
原材料	38件
区画線	L=7799m

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
安全・安心に通行できるよう継続的な交通安全施設の整備等が不可欠であるので、引き続き推進を図っていく。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 133-01-03

事務事業名		交通安全啓発活動事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2211	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	2	総務費
	施策の方向	3	交通安全対策の推進		項	1	総務管理費
					目	13	交通安全対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	市民の交通安全に対する意識と交通マナーの向上を図る。					
	手段 (事業内容)	藤井寺市、羽曳野警察署、羽曳野・藤井寺交通安全協会、関係団体等と協働し春・秋の全国交通安全運動期間等において、「交通安全市民大会」、「交通安全運転講習会」、「交通安全街頭キャンペーン」、「めいわく駐車対策キャンペーン」などの啓発イベントを実施する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 羽曳野・藤井寺安全協会 補助金 300千円 羽曳野・藤井寺市駐車問題協議会 補助金 73千円	
当初予算額	事業費	505	495	378		
決算額	事業費	463	458	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	交通安全啓発事業の開催件数	単位	件	
指標の説明	羽曳野警察署管内における交通安全市民大会(表彰式)・講習会・キャンペーン等の開催件数(市参加)【期間:1/1~12/31】			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		21	15	15
実績		15	5	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	交通事故発生件数	単位	件	
指標の説明	羽曳野市内における交通事故(死亡事故・重傷事故・軽傷事故)発生件数【期間:1/1~12/31】			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		400	0	0
実績		312	285	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	
		B	B

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
本市は、「交通安全宣言都市」として、積極的に交通安全に取り組み、交通事故の無い明るい社会を実現するため、警察、交通安全協会、関係団体等と協働し、交通安全啓発活動を進めていく必要があります。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
各協議会への補助金について、事業の実施状況や手法について縮減に向けて協議中

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 133-01-04

事務事業名		放置自転車対策事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2211	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	3	道路・交通		款	2	総務費
	施策の方向	3	交通安全対策の推進		項	1	総務管理費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	自転車等の利用者					
	目的 (どうしたいか)	駅周辺道路等における自転車等の駐車秩序を確立することにより、自転車等の放置による生活環境の悪化を防止し、災害時の緊急避難路や歩行者の安全の確保及び通行機能の保持を図ることを目的とする。					
	手段 (事業内容)	<ul style="list-style-type: none"> 市条例に基づき市内5駅の周辺において『自転車等放置禁止区域』を設け、放置されている自転車等の撤去、保管や、放置者に対する街頭指導を行う。 保管した自転車等について、利用者又は所有者に返還を行う。 自転車等放置禁止区域の周知を目的とした路面標示材の整備及び補修を行う。 					

予算・決算額		(単位:千円)		
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
当初予算額	事業費	15,053	15,609	15,836
決算額	事業費	13,821	14,434	-
	特定財源等	216	136	-

≪主な内訳(令和2年度決算)≫

<p>【事業費】</p> <p>シルバー人材センター委託料 (放置自転車撤去業務) 8,526千円</p> <p>シルバー人材センター委託料 (街頭指導業務) 5,634千円</p> <p>【特定財源】</p> <p>植生撤去自転車置場使用料 98千円</p> <p>放置自転車撤去手数料 35千円</p>

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	撤去台数	単位	台	
指標の説明	1年間に撤去した自転車等の総台数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		400	200	150
実績		320	190	-

≪事業の参考数値等≫

<p>自転車の返還率</p> <p>平成28年度 221/524 42.2%</p> <p>平成29年度 262/479 54.7%</p> <p>平成30年度 255/400 63.8%</p> <p>令和01年度 151/320 47.2%</p> <p>令和02年度 70/190 36.8%</p>

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	返還台数	単位	台	
指標の説明	1年間に撤去した自転車等の返還台数			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		300	200	100
実績		151	70	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	市が実施すべき義務的的事业である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>事業開始当初と比べ放置自転車の台数は大幅に減少しているが、近年では横ばいの状態であり、一定数の放置自転車等が存在する状況にある。自転車等利用者への街頭指導とあわせて、「交通ルールの徹底」や「交通マナーの向上」の啓発活動の推進が必要です。</p>	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
<p>令和2年度については、新型コロナウイルス感染拡大の状況から撤去台数は半減していると思われませんが、自転車による通勤・通学の需要は高まっていく可能性があり、引き続き実施を行う必要があります。</p>

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 142-01-01

事務事業名		公園管理事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2230	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	2	身近な公園の維持管理体制の充実		項	4	都市計画費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	公園利用者					
	目的 (どうしたいか)	市民が安全で快適に利用できるよう、適正な維持管理を行う。					
	手段 (事業内容)	・公園、緑地の定期安全点検 ・日常清掃、公衆トイレ等の管理委託 ・老朽化による施設や遊具の修繕補修 ・公園、緑地内の植栽の剪定や灌水、芝生の刈り込み ・病害虫の駆除等の管理作業 ・公園駐車場の運営					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 シルバー委託料:11,223千円 修繕費:11,983千円 害虫駆除手数料 165千円 樹木処分費:3,098千円 植栽管理工事費:22,348千円 原材料費:294千円	
当初予算額	事業費	49,384	50,929	51,604		
決算額	事業費	47,561	49,112	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	修繕件数	単位	件	
指標の説明	通報又は、発見による緊急に修繕が必要な箇所			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		100	100	100
実績		83	66	-

【特定財源】

≪事業の参考数値等≫
 修繕件数:66件
 害虫駆除件数:1件
 樹木処分件数:24件
 原材料購入件数:4件

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	修繕箇所	単位	件	
指標の説明	公園を安全安心に利用してもらうことにつながる。			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		100	100	100
実績		83	66	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	
		A	B
		A	

総合評価 **現状維持**

(担当部局による総合評価の理由や課題)

今後、公園施設の経年による老朽化により増加が予想される維持管理経費については危惧を持っているところであるが、市民との協働や職員による修繕対応範囲の拡大等によるコストの抑制など、より一層の効率性を追求するとともに、高齢者や障害者等の社会的弱者に対応できるようなバリアフリー化や遊具・施設の点検、修繕箇所の迅速な対応強化など、利用者の利便性、安全面の確保に努める。なお、身近な公園については、地域ニーズを充分に反映した市民参画による管理運営を検討する。

今後の改善内容

(令和3年度以後の事業実施への改善内容)

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 143-01-01

事務事業名		ボール遊びができる広場整備事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2225	
総合基本計画	施策目標	1	快適でうるおいのある 住みよいまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	4	みどり・空間整備		款	8	土木費
	施策の方向	3	特色と親しみのある公園づくりの推進		項	4	都市計画費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	高鷲北幼稚園跡地					
	目的 (どうしたいか)	防災機能を備えた地域の交流拠点となるよう、花と緑あふれる憩いの空間を整備					
	手段 (事業内容)	整備に向けた設計業務の実施					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	0	174,155	45,779		
決算額	事業費	5,714	0	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	拠点施設整備設計	単位	件	
指標の説明	目的を達成するために必要となる設計の実施			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		-	-	2
実績		1	0	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	設計書の作成	単位	件	
指標の説明	活動指標に対する成果			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)		0	-	4
実績		1	0	-

≪事業の参考数値等≫
 (R3年度
 幼稚園解体設計業務委託:1件
 幼稚園解体工事:1件
 広場予備設計業務委託:1件
 家屋調査業務委託:1件

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きくない。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
閉園となった高鷲北幼稚園園舎の解体及び整地を行ない、その跡地を有効活用し、地域の子供が安全・安心な環境でボール遊びができる空間や防災機能を有する広場を配置し、地域の交流場所及び一時避難所となる施設を整備するものです。 ●課題:ボール遊びの騒音や広場開放時間など地元関係者等への説明や理解が必要である。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)
令和4年度は詳細設計業務や広場整備工事など実施する予定であり、防災関係の補助金など特定財源を活用できるよう協議する必要がある。

令和3年度羽曳野市事務事業評価シート(令和2年度実施事業)

事務事業コード 212-01-08

事務事業名		交通事業者への支援		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		道路公園課		連絡先		内線2280	
総合基本計画	施策目標	2	地域がつながり 安全で心安らぐまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	1	危機管理		款	2	総務費
	施策の方向	2	危機事象等への対応強化		項	1	総務管理費
					目	13	交通安全対策費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	公共交通事業者(路線バス・タクシー)					
	目的 (どうしたいか)	新型コロナウイルス感染症のまん延を防止するとともに、市民が安心して利用することができる日常の移動手段を確保					
	手段 (事業内容)	路線バス及びタクシーの車内における感染症のまん延防止措置に要する経費(運転席とその他の席を隔離するための物品の購入に要する経費・車内を消毒するための物品の購入に要する経費)について、予算の範囲内において補助金を交付					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和2年度決算)≫	
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	【事業費】 【特定財源】	
当初予算額	事業費	-	2,120	4,400		
決算額	事業費	-	1,660	-		
	特定財源等	-	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	補助金額	単位	千円	
指標の説明	感染防止対策経費の補助			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	-	-	420	
実績	-	1,660	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	感染防止対策経費	単位	千円	
指標の説明	感染防止対策経費として消耗品の購入			
		令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標(見込)	-	-	4,400	
実績	-	1,660	-	

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。		

総合評価	拡充・重点化
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
コロナ禍において感染防止対策を行いつつ、外出自粛やテレワークの拡大により減収減益によるダメージを受けている公共交通事業者への支援を行い、市民が安心して利用することができる日常の移動手段を確保するため施策が必要。	

今後の改善内容
(令和3年度以後の事業実施への改善内容)